

9月6日の本会議において、予算常任委員会に付託を受けました議案第43号から議案第47号までの5議案について、9月6日に開催しました委員会の審査結果を報告します。

主な質疑は次のとおりです。

議案第43号令和6年度湖南省市一般会計補正予算（第3号）について、有害鳥獣（小動物）の駆除にかかる費用に関して、市民が捕獲したものを引き取る取り組みか、また、引き取るのは生きている動物だけか、との質疑に対して、有害鳥獣に該当する特定外来生物（アライグマやハクビシン）による農作物被害のみならず、家屋被害も多発しており、農林振興課から檻を貸し出し、捕獲まで市民にさせていただきます。捕獲後は、猟友会の方に殺処分していただき、遺体の処理までしていただく処分料です。また、死んでいるものは、一般廃棄物となり、ごみの処分となりますとの答弁でした。

学校給食センターの使用燃料を現状のLPガスから都市ガスへの変更でいくらか安くなるのか、また、ガスの消費量が減るのかとの質疑に対して、都市ガス化により年間約850万円安くなる試算です。また、都市ガスの消費量は、LPガスに比べて約倍になりますが、給食調理では中圧を主に使用し、中圧の単価は約3分の1のため、コストメリットとなりますとの答弁でした。

国スポ・障スポに向けた施設整備工事の内容についての質疑に対して、総合体育館の更衣室改修工事と、体育館内部の柵や鉄格子等の修繕を行いますとの答弁でした。また、体育館エアコン導入はとの質疑に対して、エアコンの必要性については、剣道連盟と検討していきますとの答弁でした。

三雲駅・甲西駅前設置の防犯カメラは、入れ替えなのか修繕なのか、また、台数はとの質疑に対して、三雲駅前の防犯カメラ1台、甲西駅前の防犯カメラ3台、計4台について老朽化により、カードレコーダーとカメラ等を取り換え交換しますとの答弁でした。

ヤングケアラーコーディネーターとサポートプラン作成支援員の会計年度任用職員報酬費を母子保健事業から、それぞれ重層的支援体制整備事業費と虐待防止対策事業費に移行した際、85万3千円の差額が発生した理由はとの質疑に対して、ヤングケアラーコーディネーターの採用が4月当初ありましたが、数週間で退職され、その後5月、6月と採用がなく、7月からの採用となったため、差額が発生しましたとの答弁でした。

繰越金が6億4,655万7千円、当初1億円の補正額を見ているので7億4,655万7千円であるが、令和5年度の決算で認定されるべく提案されている実質収支額が7億4,659万7,194円となっており、この金額が合わない理由はとの質疑に対して、令和5年度一般会計歳入歳出決算書の認定につきましては、監

査も済んでおり、数字の間違ひはありませんので、補正予算を計上する時の間違ひであります。その差異が生じた4万194円につきましては、次回12月の補正予算にて計上させていただきますとの答弁でした。

そうした対応しか方法はないが、なぜ間違ひが起こったのか原因を究明し、報告を求めますとの意見がありました。

ふるさとときらめき湖南づくり応援基金繰入金が令和5年度一般会計歳入歳出決算書で2億4,373万2,000円に対し、補正予算の予算説明書では2億5,297万3,000円とあり、この金額の違ひについての質疑に対して、ふるさとときらめき湖南づくり応援基金は、7つの事業に充当しておりますが、今年度未充当の場合、未充当額として基金に残します。令和5年度の寄付金が2億4,600万3,000円と前年度未充当額1,852万495円と利子額2万7,000円をウツクシマツ保全事業と歴史文化遺産の事業等に活用しました。当初4億円を予定していましたので合わせて2億6,455万495円でしたので、その差額である1億4,702万6,506円を今回の補正で減額しましたとの答弁でした。

議案第45号令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)について、水戸診療所と石部診療所のX線一般撮影装置に係る保守管理委託に要する経費の増額についての質疑に対して、昨年12月にX線一般撮影装置を更新しました。無料保守点検期間は、1年間であったのに12月以降の保守点検経費を当初予算で上げておらず、今回の補正予算にて計上しましたとの答弁でした。

議案第47号令和6年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第1号)について、地域包括支援センターへの相談管理システム導入にあたり、既存の相談記録をシステムに移行する業務を委託するとあるが、4カ所の地域包括支援センターそれぞれのところにあるデータを一括で委託される予算なのかとの質疑に対して、相談管理システム導入後、4ヶ所それぞれにあるデータを移行していただく委託料ですとの答弁でした。

議案第44号令和6年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第1号)と議案第46号令和6年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)については質疑はありませんでした。

以上が質疑の概要であります。その後、各議案に対して討論はなく、採決を行いました。その結果、議案第43号から議案第47号までの5議案について、いずれも全員賛成で可決すべきものと決定しました。